

各 位

株式会社 北都銀行

北都銀行の ESG への取組みについて

ESG とは

ESG とは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものです。今日、企業の長期的な成長のためには、ESG が示す 3 つの観点が必要だという考え方が世界的に広まってきました。一方、ESG の観点が薄い企業は、大きなリスクを抱えた企業であり、長期的な成長が難しい企業だということを意味します。ESG の観点は、企業の株主である機関投資家の間で急速に広がってきています。投資の意思決定において、従来型の財務情報だけを重視するだけでなく、ESG も考慮に入れる手法は「ESG 投資」と呼ばれています。

ESG 投資の実績

ESG 投資は、企業経営においても「サステナビリティ (持続可能性)」という概念が普及し、社会や環境を意識した経営戦略は、企業利益や企業価値向上に繋がります。我々北都銀行も地方創生を標榜し、これまで数々の ESG 事業に取り組んでまいりました。その一つは、環境を重視した再生可能エネルギー事業向けのファイナンスです。地域の持続的成長のためにプロジェクトファイナンスの手法により、企業の ESG 投資に対してリスクテイクしてきました。北都銀行の再生可能エネルギー向けプロジェクトファイナンスの組成額は、これまでで 850 億円となり地方銀行ではトップクラスとなっております。地域金融機関の責任として、地域事業者の ESG 経営を財務面からも本業面からも支援することこそが、顧客本位の持続可能なビジネスモデルを遂行することに他ならないと考えております。

ESG 経営による地域づくり

北都銀行の企業理念『健全経営を進め 地域とともに 豊か未来を創造します』は、地域のステークホルダーと共通価値を創造し、持続可能な地域社会を創り上げていくことであり、それを実現するには ESG の視点が不可欠であると考えております。秋田県は「第 2 期秋田県新エネルギー産業戦略」にて、風力発電の導入量を、現在の 355 千キロワットから、平成 32 年度には 620 千キロワットまで伸ばす計画を表明しております。北都銀行では、持続可能な地域社会を創造するために、ESG 経営を地域と未来への投資と位置付け、積極的に推進してまいります。

《本件に関する問い合わせ先》

地方創生部地方創生推進グループ (担当: 佐藤幸司) 内線 3631)

以上